

会社沿革

～ 農水知財のパイオニアとして ～

1974年	<ul style="list-style-type: none"> 弁理士 浅野勝美が、浅野特許事務所を設立（後の浅野国際特許事務所、～現在）。設立当初から、国内外の植物新品種（種苗法）・植物特許（特許法）の保護を手がける。 経済産業省グローバルニッチトップ企業 100 選の漁業機械メーカーや、創業 100 年超の農業機械メーカー等、多数の農林漁業関連企業を顧客に持つ。
1992年	<ul style="list-style-type: none"> 浅野勝美が、サービスマーク導入時に、日本トップクラスの件数を出願。
1998年	<ul style="list-style-type: none"> 浅野卓が、有限会社アポ 取締役社長に就任（20 歳。～現在）。
2004年	<ul style="list-style-type: none"> 浅野卓が、浅野国際特許事務所に入職（～現在）。日本初の特許事務所附属研究所として、国際知的財産戦略研究所を開設。知財法・独禁法・契約実務・情報解析を着実に押さえた「知財経営・知財戦略」を基軸に、理論に裏打ちされた「ブランド戦略」、「新事業創出」のコンサルティングを開始。 浅野勝美が、黄綬褒章を受章（平成 16 年度秋）。

～ ABC エキスパートから アグリ創研株式会社へ ～

2011年	<ul style="list-style-type: none"> 浅野卓が、東日本大震災からの再生・復興支援のため、東京・吉祥寺にて、ABC エキスパート®を開業。 浅野卓が、東京医薬専門学校<small>の非常勤講師</small>（知財）に着任（2010 年度～）。 吉野杉による快眠プロジェクトが、「吉野林材振興協議会賞」を受賞。
2012年	<ul style="list-style-type: none"> 浅野卓が、農林水産省関東農政局の 6 次産業化プランナーに選定（～2013 年）。 浅野卓が、単著『ビジュアル 知的財産マネジメント』（DTP 出版社）を上梓。
2013年	<ul style="list-style-type: none"> 地理的表示（GI）の現地調査（フランス）。
2014年	<ul style="list-style-type: none"> 浅野卓が、6 次産業化中央サポートセンター（全国）の 6 次産業化プランナーに選定（～現在）。 浅野卓が、文部科学省『大学 COC 事業』（名古屋学院大学）として、中小企業や地域に根差す企業のための知財経営を共同研究（～2017 年）。 地理的表示（GI）の現地調査（イタリア）。 浅野卓が、JA 全中（全国農業協同組合中央会）の顧問に着任。JA グループ全体の、地理的表示（GI）制度を戦略的に活用した地域活性化ビジネスモデルを構築（～2016 年）。以後、全国各地の総合 JA およびブランド協議会の顧問を務める。 浅野卓が、産業能率大学の兼任教員（知財）および大正大学の兼任講師（知財）に着任。
2015年	<ul style="list-style-type: none"> 浅野卓が、同年施行された地理的表示（GI）制度について最も多くの案件を取扱う。 浅野卓が、共著『JA グループ 地理的表示保護制度 活用マニュアル』（JA 全中）を上梓。 浅野卓が、復興応援 KIRIN 絆プロジェクトである、『伝統産業「伊達のはんぼ柿」の復活と継承～新たな挑戦』に参画（～現在）。
2016年	<ul style="list-style-type: none"> 浅野卓が、農林水産省『「知」の集積による産学連携推進事業』のうち、「知的財産の技術移転加速化事業」で講演活動（知財戦略）。 浅野卓が、中小企業大の非常勤講師（知財）に着任。
2017年	<ul style="list-style-type: none"> 浅野卓が、地理的表示（GI）について、日本経済新聞に取材・掲載。 浅野卓が、山本有二 農林水産大臣より、農林水産省 国立研究開発法人審議会 専門委員に任命（～現在）。 浅野卓が、共著『実践 知的財産法』（法律文化社）を上梓。 浅野卓が、テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』で、地理的表示（GI）を解説。 浅野卓が、地理的表示（GI）保護制度の申請・活用の支援を通じ同制度の普及および知財技能士のプレゼンス向上に貢献している実績等により、「第 1 回 知的財産管理技能士会表彰 奨

	<p>励賞」を受賞。</p>
2018年	<ul style="list-style-type: none"> ・ABC エキスパートの中核事業を法人成りさせ、東京・吉祥寺にて、アグリ創研®株式会社を設立。 ・社長 浅野卓が、八芳園にて、日本初の、日本の地理的表示 (GI) 産品のフルコース料理をプロデュース (1月28日提供)。メニューブックを EU 代表部および EU 諸国の在日大使館・商工会議所に提供。 ・地理的表示 (GI) の現地調査 (ポルトガル)。 ・本社を移転。本社 (東京・板橋)、戦略研究所 (東京・吉祥寺)、社長室 (東京・赤坂) の3拠点体制とする。

～ 地域ブランドプロデューサー／事業プロデューサーとしての評価確立 ～

2019年	<ul style="list-style-type: none"> ・社長 浅野卓が、法務大臣認証 ADR 機関 日本不動産仲裁機構 調停人 (民泊・農家民宿) に登録 (～現在)。 ・社長 浅野卓が、首都大学東京 (現 東京都立大学) 大学院の非常勤講師 (知財) およびアグリイノベーション大学の講師 (知財・ブランド戦略) に着任。 ・社長 浅野卓が、農林水産省 国立研究開発法人審議会 専門委員を留任。 ・社長 浅野卓が、経済産業省 特許庁『令和元年度 地域団体商標普及啓発事業』の外部委員・座長 (地域団体商標広報企画 WG) に着任。「東北 地域ブランド総選挙」にて審査員長を務める。 ・農林水産省『平成30年度 主要輸出国の知財制度等実態調査委託事業』において、中国・韓国・シンガポール・ベトナム・タイ・マレーシア・インドネシアの地理的表示 (GI) 制度を調査。 ・社長 浅野卓が、農林水産省『令和元年度 海外知的財産保護・監視委託事業』のうち、「農林水産知的財産保護コンソーシアム」で講演活動 (知財・ブランド戦略)。 ・顧問先が、ブランド確立の取組みを評価され、「第48回 日本農業賞 大賞 (集団組織の部) & 農林水産大臣賞」を受賞。次いで、2000名を超える部会員が一体となったブランドの維持・拡大を評価され、「第58回 農林水産祭 内閣総理大臣賞 (多角化経営)」を受賞。 ・さらに他の2つの顧問先が、「令和元年度 地産地消等優良活動表彰 農林水産大臣賞 (生産部門)」、農林水産省食料産業局長賞 (生産部門) を受賞。
2020年	<ul style="list-style-type: none"> ・社長 浅野卓が、特許庁商標懇談会の懇親会に招待される。 ・社長 浅野卓が、特許庁編『地域団体商標ガイドブック 2020 地域ブランド10の成功物語』を監修・一部執筆。 ・共著『地理的表示の保護に係る制度【中国・韓国・シンガポール・ベトナム・タイ・マレーシア・インドネシア】』 (農林水産省 平成30年度 主要輸出国の知財制度等実態調査委託事業) を執筆。 ・全省庁統一資格を取得。 ・社長 浅野卓が、6次産業化中央サポートセンター (全国) の6次産業化プランナーを留任。 ・社長 浅野卓が、丹波市立 農の学校の講師 (知財・ブランド戦略) に着任。

20200608